

(別紙) 予算(人件費の見積りを含む。), 収支計画及び資金計画

平成18年度 予算

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	15,509
施設整備費補助金	980
国立大学財務・経営センター施設費交付金	45
自己収入	17,499
授業料及入学金検定料収入	4,627
附属病院収入	12,774
雑収入	98
産学連携等研究収入及び寄付金収入等	1,800
長期借入金収入	836
計	36,669
支出	
業務費	28,764
教育研究経費	16,713
診療経費	12,051
一般管理費	1,335
施設整備費	1,861
産学連携等研究経費及び寄付金事業費等	1,800
長期借入金償還金	2,909
計	36,669

注)「施設整備費補助金」のうち、平成18年度当初予算額 165 百万円、前年度よりの繰越額 815 百万円。

[人件費の見積り]

期間中総額 17,532 百万円を支出する。(退職手当は除く)

(うち、総人件費改革に係る削減の対象となる人件費総額 13,701 百万円)

平成18年度 収支計画

(単位:百万円)

区 分	金 額
費用の部	35,759
經常費用	35,759
業務費	30,556
教育研究経費	3,067
診療経費	6,911
受託研究費等	1,026
役員人件費	111
教員人件費	11,382
職員人件費	8,059
一般管理費	881
財務費用	553
減価償却費	3,769
収入の部	35,445
經常収益	35,445
運営費交付金	15,120
授業料収益	3,812
入学金収益	607
検定料収益	152
附属病院収益	12,724
受託研究等収益	1,026
寄付金収益	732
雑益	173
資産見返運営費交付金等戻入	381
資産見返補助金戻入	2
資産見返寄付金戻入	114
資産見返物品受贈額戻入	602
純利益	△ 314
総利益	△ 314

注) 収支が不均衡となる理由

(1) 附属病院において、国からの承継資産および病院収入等により取得した資産にかかる減価償却費(2,539百万円)が資産見返戻入の対象とならないこと、および長期借入金にかかる債務償還経費の元金(2,356百万円)が費用対象とならないことにより、収支不均衡(△183百万円)となる。

(2) 受託研究収入等により取得した資産にかかる減価償却費(131百万円)が資産見返戻入の対象とならないことにより、収支不均衡(△131百万円)となる。

平成18年度 資金計画

(単位:百万円)

区 分	金 額
資金支出	43,561
業務活動による支出	31,412
投資活動による支出	2,348
財務活動による支出	2,909
翌年度への繰越金	6,892
資金収入	43,561
業務活動による収入	34,808
運営費交付金による収入	15,509
授業料及入学検定料による収入	4,627
附属病院収入	12,774
受託研究等収入	1,026
寄付金収入	774
その他の収入	98
投資活動による収入	1,025
施設費による収入	1,025
財務活動による収入	836
前年度よりの繰越金	6,892